

令和6年度八丈町立大賀郷小学校 授業改善プラン 第6学年

	教科における課題 (□)	身に付けさせたい力 (・)	課題を解決するための取組(○) 授業改善策(☆)
国語	☐ 漢字を習得し、使えるようにする ☐ 語彙を増やし、文章表現力やコミュニケーション能力を身に付ける	・漢字を読み書きする力 ・語彙力 ・文章表現力 ・コミュニケーション能力	○新出漢字は、ドリルで練習→家庭学習で習熟→確認テストのサイクルで習熟を図る。 ☆継続的に練習・テストを行う。 ○読書の習慣化を図る。 ☆隙間時間読書の励行。 ○文章で表現する機会を増やす。 ☆詩や俳句・短歌、短作文を定期的を書く。 ☆思ったことや考えたことなどを短い文章で表現させる機会を多く設ける。 ☆ペア→小グループ→学級全体と話合いの形態を工夫し、話合いを意識的に設定する。 ☆毎日、1人1回は発言できるようにし、話す・聞く力を伸ばす。
社会	☐ 課題に対する問題意識や興味を高める ☐ 資料活用	・関心・意欲 ・情報を読み取る力	○資料、動画教材などを活用する。 ☆課題を身近に感じられるように、興味関心をもつように、導入や資料を工夫する。 ○多くの資料から、必要な事項を読み取り、内容を理解・整理する。 ☆資料から読み取ったことを自分の言葉でノートにまとめたり、新聞にまとめたり、友達に伝えたりする活動を取り入れる。
算数	☐ 個に応じた指導の工夫 ☐ 学習意欲の向上と持続 ☐ 言葉で表現する力の向上	・基礎・基本を理解する力 ・発展的に考える力 ・自力、または話し合って課題を解決する力 ・間違いから学ぼうとする粘り強さ ・はっきり、分かりやすく説明する力	○各種面積の求め方を確実に理解する。 ☆公式を覚えるだけでなく、求め方の方法などを理解する。 ☆小数の乗法、除法などの計算力を付けるために大賀郷タイムを活用し、ドリルやプリントに繰り返し取り組めるようにする。 ○少人数指導を充実させ、算数科のまとめをし、数学への橋渡しができるようにする。 ○発表の場の設定。 ☆具体的な図や、線分図を描いて考えることを定着させる。 ○具体的に算数の言葉や図・表を用い、説明できるように指導する。 ☆問題解決型学習を続けていく。 ☆自分の考えをノートにまとめてから、発表させ、話し合う。 ☆振り返りを続け、質を高める。
理科	☐ 学習意欲の向上 (科学的知識)	・自然科学に対する知識習得意欲の向上	○単元の導入や発展として、科学知見やタイムリーな話題を適宜知らせる。 ☆実生活とのつながりを想起させる場面を多く取り入れる。

	☐ 観察力の向上 ☐ 科学的思考の育成 ☐ 発表する力	・思考の言語化 ・観察結果を記録していく力 ・観察、調査し結果を考察していく力 ・意見を発表する力	○資料に多く触れ読み取る時間を設定する。 ☆ノートのとり方の指導を行う。 ○実験観察の結果を工夫してまとめさせる。 ☆自ら実験の仕方を設定させ、観察や測定などの技能を向上させる。 ○結果などについて独自の意見を発表させる場面を設定する。 ○思考を言語化する場面を随時設定する。
図工	☐ 創造的な技能・表現力の育成	・既習の経験や技能を生かして表現する力 ・他人の創作に共感する力 ・身近な作品や美術作品を鑑賞する力	○様々な技法を生かして表現できるような内容を設定する。 ☆版画、クレヨン、絵の具、墨、カラーペンなどの多様な道具、様々な材料を、表したいことに合わせて使えるようにする。 ○单元ごとに作品鑑賞の機会を設け、友達の作品の良さや面白さを自分の作品に生かし、自分の見方や感じ方を広げられるようにする。 ☆单元の最後に必ず作品鑑賞の時間を設定する。 ☆单元の中で美術作品の表現方法やアイデアを紹介する。
音楽	☐ 基礎基本の学力	・正しい音程やリズムで歌う力 ・自分で課題を見付けて取り組む。 ・身に付けた知識、技能を生かして音楽表現をする力	○常時活動を内容を充実させる。 ☆歌唱やリズムあそびを常時活動として取り入れ、正しい音程とリズム感を身に付けさせる。 ☆体を動かす活動を取り入れ、音楽を体全体で感じ取れるようにする。 ○1人1台タブレット型 PC を活用し、自分のペースで学習を進められるシステムを作る。 ○「自分はどう表現したいのか」という視点を持ち、音楽表現を工夫できる時間を設ける。
家庭	☐ 家庭生活をより良くしようとする意欲・姿勢	・学習したことを家庭生活で実践する力	○授業内容と家庭生活をつなぎ、実践力を高められる学習を行う。 ☆学校で学習したことが家庭生活に生かせるよう、家庭との連携を図り、学習を進める。
体育	☐ 課題の解決に向けて互いにに関わり合い、学び合う力の育成。 ☐ めあて学習の充実。 ☐ 基本的な運動能力	・学び合う力 ・めあてを立て、見通しをもって取り組む力 ・基礎体力	○児童が関わり合いながら学習を進められるようにする。 ☆チームやグループでの関わりをもてるように指導過程を工夫する。 ○学習カードや資料の充実を図る。 ☆めあての達成に向けて、どのような手段があるのかを考えられるように学習資料を与えたり、適切な言葉掛けをしたりする。 ○様々な運動に取り組ませる。

	の向上		☆主運動につながる動きを準備運動に取り入れる。
外国語	□主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	・学びに向かう力、人間性など	○児童が興味をもって取り組むことができる言語活動を優しいものから段階的に取り入れたり、自己表現活動を工夫したりする。 ☆簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めた自己紹介をする活動を取り入れる。 ☆簡単な語句や基本的な表現を用いて、学校生活や地域に関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを表す活動を取り入れる。